第１回新潟市江南区外国籍市民懇談会　議事録（概要）

日時：平成 25 年 1 月 29 日（火）午前 10 時～正午
場所：江南区役所　2 階　201 会議室

*加藤勲委員は中国語通訳を、ティモシー ヴァンカンペン委員は英語通訳を介して発言されましたが、議事録には日本語訳のみ掲載しています。

発言者	発言内容
司会	これより、第１回新潟市江南区外国籍市民懇談会を開催します。はじめに、新潟市国際課長の堀内よりご挨拶申し上げます。
堀内国際課長	＜挨拶要旨＞ 新潟市では平成 17 年度から市内全域に住む外国籍市民の方々から参加いただき、「外国籍市民懇談会」を開催してきた。これまで教育や災害など、比較的大きなテーマで懇談会を開催して、皆さんに議論いただいた。 これまでは中央区を会場として実施してきたが、新潟市には８つの区があるので、今年度は各区でも開催し、これまでは参加しづらかった各区の外国籍市民の方々からも参加いただきたいと思っている。 1 月 23 日にはさっそく秋葉区で開催した。今回は江南区ということで、2 回目となる。新潟市には約 4,500 人の外国籍市民がいる。そのうちこの江南区には 220 人が住んでいる。その中から皆さんから議論いただく。 今回の懇談会ではあらかじめ皆さんにアンケートを実施した。そして、より身近なこと皆さんが関心を持っている問題についてテーマを設定した。せっかくの機会なので積極的に議論いただきたい。その内容について、どのように解決に結びつけていけばよいか私たちも含めて、ともに考えていきたい。 そして今回参加いただいた皆さんが、これを機会にこれからも引き続き仲良くお付き合いいただける仲間になっていただければうれしい。
司会	それでは、第１回目ですので委員の皆さんより自己紹介をお願いいたします。繰さんから順にお願いします。
繰委員	おはようございます。繰（まとう）と申します。皆さんと仲良くできたらいいなと思っている一人ですので、よろしくお願いします。
小林委員	おはようございます。私はスリランカ人ですが、日本に来て 17 年で、ずっと小林咲子になりつづけています。自分の名前を忘れてしまうくらい「咲ちゃん」と呼ばれています。日本が大好きです。よろしくお願いします。
ティモシー委員	ティムです。南カリフォルニアから来ました。日本に住んで８年目になります。前は、３年間仙台に住んでいました。よろしくお願いします。
郭　委員	郭　崢（カク　ジョウ）と申します。中国の上海から来ました。日本に来て 18 年になりました。よろしくお願いします。

加藤委員	おはようございます。私は加藤　勲です。中国黒龍江省から来ました。よろしくお願いします。
田（チョン）委員	はじめまして、こんにちは。新潟には 20 年くらい住んでいます。これから新潟に恩返ししたいと思っています。新潟の方には個人的にも、事業でも本当にお世話になっています。よろしくお願いいたします。
崔（チェ）委員	こんにちは。韓国から来た崔智慧（チェ　ジヘ）と申します。日本に来て２年半になりました。子どもがいて、なかなかこういう活動に参加する機会がありませんでしたが、子どもがいても委員になって、少しでも江南区の国際交流のために力になれればうれしいと思います。よろしくお願いします。
司会	まずこの懇談会の進行役、取りまとめ役である座長を皆さんで選んでいただきたいと思います。事務局としてはコーディネーターである繰さんにお引き受けいただきたいと考えております。いかがでしょうか。
委員一同	（異議ありません、の声）
司会	それでは繰委員に座長をお願いします。ここからの進行は座長にお願いします。
座長	ただいまご指名いただきました繰でございます。よろしくお願いいたします。 それでは配布資料、傍聴、今後の予定について、事務局の方から説明お願いします。
事務局	＜配布資料・傍聴についての説明　略＞ 今日は交流と教育・子育てという２つのテーマについて皆様から意見を出し合っていただき、次回３月後半の２回目の懇談会までに、誰が何を考えどういうふうにするかというのを持ち寄れるようにしたいと思っています。
座長	それでは次に、この懇談会で取り上げるテーマについて、公募委員の皆さまからご発言いただきたいと思っています。 まず、普段の生活で困っていること、近隣の住民や外国籍の区民との交流、地域のコミュニティとの関わりについてなにか困っていることがありましたら、ご発言お願いします。
崔委員	出産前は近くのコンビニでアルバイトをやっていました。新潟市の亀田は正直少し「田舎」だと思っていて、外国人に対して変な考えを持っているのではと思っていましたが、意外にそんなに困ったことはなかったです。名前の読み方を日本の漢字の読み方で呼ばれことがありましたが、それ以外は特になかったです。 日本人のママ友とも普通に交流していて、困ったことはありません。
座長	名前の呼ばれ方だけなのですね。田さん、どうですか。
田　委員	私の場合は、日本といったら新潟しか知りません。 一時、夫の看病などで生活費が必要だったので、あちこち履歴書を出しました。面

	接の時には OK でも、いざ日本籍ではないということがわかると、「あとで連絡します。」というふうに言われる。能力よりも、私が日本籍でないということを重要視するのだと実感しました。 　外国の国籍ではあるが、先祖がくれた苗字は大事にしたいと思う。（日本人の）夫が亡くなってからは、外国の国籍である私には、店舗などを貸してくれない。 　不動産業者も外国の方には貸したくないというところが多い。私は新潟で悪いことをした覚えもないのに、なぜ不動産業者がそのようなことを言うのかわからない。すごく寂しい、悲しいと感じたことがありました。 　事業をしていたので、新潟の人のことはよくわかっていると思っていました。新潟の人は韓国の忠清道（チュンチョンド）・大田の人と似ていて、おとなしくて柔らかいと人から聞いたことがあります。人と仲良くしたいと思うと、韓国の人の場合は本当に好きな人に対してはストレートに、深く付き合って仲良くしようとします。しかし新潟の人は、個人的にはみんな優しいですが、ある程度まで仲良くすると、扉を閉めてしまう。
座長	次の、加藤さんはいかがですか。
加藤　委員	やはり、仕事面で困っています。外国人で言葉の面が不自由なので。
座長	郭さん、どうですか。
郭　委員	私は日本に来てから、特に困ったことはなかったです。 　しかし、子供の問題なのですが、新潟だけではなくて、娘の時も、横浜で小学校１年だった時に、たまに「中国人、中国人」と言われました。子どもの場合は悪意はないのでしょうが、言われる子どもはなんとも言えない気持ちになると思う。 　先生は、非常に優しく接してくれる。先生は、他の生徒たちに「そういうことを言うと差別になるんだよ」と言ってくれた。強い子どもは大丈夫だと思うが、弱い子ども傷つくと思う。 　私がボランティアで通訳をしたことのある新潟市のある小学校では、中国から帰国した生徒がいじめを受けて、結局中国に帰ってしまいました。 　ご近所とは本当に仲良くしています。みんな優しいです。 　もう一つ気になることがあるのですが、日本では 20 歳になると国民年金の加入が義務で、日本人に対しては区役所などから通知が来ると思うのですが、外国人に対してはなんの通知も来ていないと思います。私の娘は、1 歳からずっと日本に住んでいますが、20 歳になった時になんの通知も来ていなかったので、自分で区役所に行った時には、すでに 1 年過ぎてしまっていた。でも実際のところ、日本の大学生には免除制度があるのに、外国人留学生たちは「免除制度」や「カラ期間」を知らず、わかってから区役所に行ったら、もう 1 年以上過ぎているので免除ができないと言われた。社会保障制度について日本人と同じように教えてもらえるとありがたいです。 　また、社会保障制度に関する申し込みの期限などを早めに教えていただければありがたいです。
座長	それはどうなっているんですか、外国籍の方にはお知らせしないんですか。

事務局長	そういう色々な制度について、どういうふうにお知らせしているのかは、今お聞きしたかぎりではよくわかりませんので、そこについても次回説明できるようにしたいと思います。
ティモシー委員	新潟に来て 4 年経ちます。私はシンガーソングライターで、CD も 3 枚目を出したばかりです。仙台にも 3 年住んでいたことがあり、仙台では色々なクラブやバーで演奏をしていました。新潟ではあまり演奏する場がなかったので、JET プログラムに参加して 3 年間の ALT の仕事を終えてから、日本全国を回って各地の駅で演奏することにしました。 あちこちへ行った中で、長岡駅の警察官は「Hello!」と気さくに声をかけてくれたが、新潟駅の警察官は非常に厳しかった。長岡駅で演奏している時に警察官に「ここで演奏していてもいいか」と尋ねたところ、警察官は「ここは JR の土地で、市の土地ではないので、なんとも言えない」と言いました。その後新潟駅に来て演奏していたら、また警察官が来て「ここで演奏してはいけない」と言われたので、「あなたは JR の職員ですか」と聞いたら、「いいえ」、「では、ここは市の土地ですか」と聞いたら、「いいえ」と答えたので、「では、放っておいてください」と言ったら、それ以降何も言わなくなりました。 私はロサンジェルスの出身で、私の地元では路上で演奏している人がたくさんいます。本当はクラブなどで演奏したい人もいますが、演奏を通じて人と交流したい場合は路上で演奏するしかないと思います。ですから、新潟に路上で演奏するアーティスト向けのスペースがあればいいと思います。
座長	小林さんどうですか。
小林　委員	私は日本に来て 17 年になります。近所付き合いや生活面で困ったことはありませんが、漢字がわからないので学校の書類などを読むのが難しく感じる時があります。 8 年続けた仕事を去年辞めて、その後パートの仕事を探そうと思い、広告を見てある会社に電話をかけました。「小林咲子です。面接を受けたいです」と話し、後日面接の日にちを知らせる電話が来ました。その時に、「実は、私外国人ですが、大丈夫ですか」と自分から言いました。すると、「言葉は大丈夫ですか」と聞かれたので、「日本語を話すだけなら外国人と思われないくらいですが、漢字がわかりません」と言ったら、「では、一応面接に来てみますか」と言われたのがショックでした。新潟では外国人が働くのは難しいなと初めて思いました。
座長	ありがとうございます。 では次に、外国籍の方たちが、それぞれ国で子育てをするのと日本で子育てをする際の違いなどについてご意見があったらお伺いしたいと思います。 では、また崔さんから順番で。
崔　委員	新潟市に住んでいる韓国人の友だちも、大体みな子どもを産んでいて、最近新潟の教育について話し合いをすることもあります。正直、韓国の教育と新潟の教育を比べて、新潟で子育てをしていて本当によかったと思っています。 韓国の大学センター試験の様子は、日本でもよく放送されていると思いますが、小・中・高の 12 年間は本当に大学入試のためにあります。私もそうでした。朝 7 時

	に登校して、夜 10 時まで学校で自習して、英語や美術、ピアノの家庭教師がいて、さらに予備校・塾にも行ったりします。家庭の収入の半分以上が教育に使われます。 　新潟の教育は本当に子どもの個性に合わせて教育していると思い、非常に気に入っています。特に公的な「子育て支援センター」や区役所など、そういう場所が本当に助かります。国の補助も充実していて、本当に助かっています。
座長	田さんは子育ては終わっていらっしゃるかもしれませんが、いかがですか。
田　委員	私は子どもがないんです。さっきのティモシーさんの話が、すごくいいお話でした。私も新潟に明るさを取り戻したいという気持ちがあります。たとえば、若い人でもお年寄りでも誰でも集まって自由に音楽を楽しんだりすることは、非常に大事だと思います。家は鳥屋野公園が近くて、運動のためによく歩くんですが、そういう場所がすごくもったいないと思います。広場とかそういう場所に若い人が自由に来て、ギター弾いたり、踊ったり、そういう野外の音楽堂があったらいいと思います。鳥屋野公園など、場所がいっぱいあるのにもったいないと思います。
座長	加藤さんはどう思いますか。
加藤　委員	教育について、私は特に何も問題がありません。
座長	郭さんはどうですか。
郭　委員	最初日本に来た時は、ちょうど「ゆとり教育」の時代でした。娘を塾に行かせなかったことを後悔しています。中国の先生は厳しい。思想教育もきっちりとやる。日本の先生は優しくて宿題もあまり出さないので、子どもたちにとっては楽だと思います。当時、「教育ママ」タイプの人は、子どもを塾に行かせていたが、私は経験がなかったので、進学などにもとくに問題がないと思い、娘を塾に行かせなくても大丈夫だと思っていました。すごく反省しています。公立高校を１校しか志望できないし、大学も、国公立大学１校しか受けることができない。結局、日本の高校受験や大学受験のほうが中国より厳しい。娘は運がよかったので、国立大学に入り、今年卒業し一流企業に就職が決まりました。 　だから、息子は今５年生ですが、塾に行かせています。 　韓国も中国も厳しいですが、日本の受験も厳しいです。
座長	教育制度、子育てについて、ティモシーさんはどうですか。
ティモシー委員	私は５年間、小学校と中学校で働いていました。私の娘がいま６ヶ月ですが、これから日本の小学校に入学させようか迷っている。
座長	小林さんはどうですか。
小林　委員	私は子供が３人います。中学３年生と１年生と小学校５年生です。いちばん上の娘は歌が大好きで、将来歌手になりたいと言っています。しかし、歌手をめざしていても簡単に歌を習うことができる場所がありません。娘は自分でグループを作って、公

	民館で歌ったこともあります。そういう夢を持っていてもどう支援していいのかわからない。 　スリランカの学校では、歌が上手な子は、学校が上に行かせて、簡単に歌手をめざすことができます。日本の学校にはそういう制度やボーカルをめざすための部活がないので、簡単に歌手をめざすことができません。
座長	ご意見ありがとうございました。 　整理すると、近隣住民との関わりとか、そしてまた地域の中でのコミュニケーションがどのようにできるかということに関して、崔さん、なにか問題ありませんか。
崔　委員	私はマンション暮らしなので、隣の人とそんなに交流はないです。
座長	田さんの場合は、いろいろな生活の変化があって、崔さんの場合とは違って、さまざまな苦しみがあったわけですが、それも文化の違いでしょうか。それとも制度がよく分からないのでしょうか。
田　委員	文化の違いは、韓国に住もうが、中国に住もうが、アメリカに住もうが、自分の努力で乗り越えるもの。自分が住む国に合わせるもの。
座長	郭さんは、制度についてもっと最初から知らせてほしかったということですか。
郭　委員	そうです。子どもの性格に関して、韓国人とか中国人はすぐ友達になれる。でも日本の人の場合は、性格というか、文化の違いというか、どうしても距離がある。マンションに住んでいても、あいさつ程度の付き合いにしておいて、少し距離をもった付き合いのほうがいいのかなと思います。付き合いを深めたいと思うが、いろいろとしゃべると自分の知らないうちに余計な世話を焼いてしまうのではと思い、相手に嫌われるのではと心配。 　日本人のそういう性格も、それがいいところでもあり、また逆にそれが相手を傷つけまいとする曖昧さでもある。中国人の場合は性格がストレートです。だから私たちは日本人と接する時、ストレート過ぎないように気をつけなければならないと思います。 　日本の方々と一緒にお茶を飲んだり、「女子会」に参加したり、交流はしているが、気をつけながら話している感じがします。
座長	ティモシーさんはどうですか。もっともっと交流拠点がほしいということですか。
ティモシー委員	８年間日本に住んでいて、幸い妻が日本人なので、日本について習う機会はいっぱいあります。私はアメリカ人というよりは地球人だと考えています。普段、妻から「もっと日本人らしく、日本人らしく」と言われます。 　亀田にLOFTというところがあって、そこで子どもに英語を教えていますが、常に子どもたちと接していることによって、自然に習得している面もあると思います。 　私の夢はいろいろな国に行って音楽をするということなので、ずっと日本にいるかどうかわかりません。娘が決めることになると思います。

座長	小林さんは家族のことを一所懸命に考えて、子どもたちのことも考えているわけですね。
小林　委員	私が日本語を覚えたのは、テレビを観ながら自分で、また誰かが話しているのを聞きながら一人で言葉を覚えました。 コミュニケーションはやはり「心」だと思います。人を変えることはできないけれど、自分が変われば何かできるのではないかと思って、ちょっとずつ言葉を覚えながら１１年間頑張ってきました。漢字はこれから覚えようにもきりがないと思います。日本人でも本を見たり探しながら漢字を書く人もいるくらいですし。私には何十年かかってもわかりません。私の場合は子どもがもう大きいので、子どもから勉強するものもあります。親が子どもを育てるだけでなく、子どもが親を精神的に育てるところもあると思います。これから先も子どもと楽しく過ごしていきたいし、また、８５歳になるおばあちゃんが元気でいるあいだに面倒をみたりして、おばあちゃんのためにあるいは新潟のために何かしてあげることをして、楽しく過ごしていきたいと思います。
座長	ありがとうございます。 課題が２つありましたが、３つの視点で考えることができると思います。１つは、役所とか公的な部分が、なにか私たちに届けてくれることができるかどうか。２つ目は、周りの人の助けを得て。３つ目は自分自身の努力で解決していくか、ということだと思います。 近隣住民・地域コミュニティとの関わりについてというテーマで、この３つに分けてもう一回整理してみたいと思います。 例えば、日本語の会話はできるけど読めない人の場合、ゴミの出し方が書かれてあっても理解できない。それをどなたかがあいだに入って…というような場合。
郭　委員	中国ではみんな漢字を使うので、なんとなくわかるんですけど、漢字を使わない国の人には下にひらがなを書いたほうがいいと思います。日本語を勉強する時にみんなひらがなは勉強するので、書いてあげたほうがいいと思います。 ゴミの分別の紙に、小学生みたいですけど、下にひらがながあるといいです。
田　委員	先ほど私は、努力すれば住みやすくなると言いましたが、要するに相手が全部教えてくれると思うのは、世界中どこの国に行っても難しいと思います。どうしても分からない時は、自分で区役所などに行って聞くべきだと思います。
郭　委員	私も、分からない時は区役所などに聞くんですけど、「知らない」と言われることが多いです。
田　委員	他の国の官公庁は冷たいけれど、日本の官公庁は優しいです。聞くと必ず答えがきます。聞いても分からないことがあればメモする。それが人生の勉強にもなる。自分で聞く、勉強する、それが努力なんです。 簡単にいえば、何か悪い事件が起きたら警察を呼びます。それと同じで、官公庁は住民のため、国民のためにあるので、行ったら優しく教えてくれます。

小林　委員	漢字のメールとかはできるんですけど、難しい言葉にふりがながついていると助かります。私日本で免許を取ったんですけど、自動車学校にふりがなをつけてくださいと自分でお願いして試験を受けたら、100 点を取りました。ふりがながついているのとついていないのでは違うと感じるし、ふりがながあるとうれしさとありがたさを感じます。
座長	通知文書だけでなく、すべての文書にひらがながあればいいということですね。
小林　委員	できれば。 難しいかもしれないけど、漢字のところだけ。
座長	地域で活動していらっしゃるティモシーさんは、地域で自分たちが活動できる拠点のようなところを教えてほしいということですね。回覧板などは読むことできますか。
ティモシー委員	見たことはありますが、読めないです。
座長	ティモシーさんがおっしゃっている情報は、回覧板、広報、市報などに書いてあるので、それが分かればいいかもしれないですね。そういうのを読むことができればいいなと、お話を聞いていて思いました。
ティモシー委員	地域でどんな活動があるかは分かりますが、たとえば近くにモールがあって、そこにはステージがあります。たまにそこで演奏している人がいるんですが、その人たちは会社を通じてそこで演奏しているわけだと思うので、私がそこで演奏しようとしても、できません。
座長	そういうような情報も、地域の方々に教えてもらえるといいですね。
郭　委員	社会保障について、児童手当とか年金の加入とか早めに教えていただけるとありがたい。
崔　委員	社会保障制度の通知とかおしらせとか、もっとインターネットやホームページを活用したらどうでしょう。
座長	江南区ではいじめもあまりないということで、皆さんはつらつとしてやっていらっしゃるんですよね。外国籍だから特別扱いを受けることもないんですよね。
郭　委員	それはないですね。今、特に男の子の場合は、「いじめ」か「遊び」か区別がつかなくなっている。男の子がけんかしたりするのは、必ずしもいじめとは言えない。
事務局	必ずしも共助、公助、自助にきっちり分けて集約できることではないと思います。文化の面とか、仕事のこと、ティモシーさんがおっしゃったこととか、どういう問題が出たかというのは事務局のほうでもよくわかりましたので、次回までに整理して、

	調べてきたいと思います。
座長	それでは、そのように事務局に委ねたいと思います。
事務局長	もちろん次回もありますので、今回言い足りないこととか、伝わり方がどうかなということがあれば、電話でも結構ですし、次回の時に発言をしていただいてもいいです。
座長	それでは次回の懇談会までに事務局の方にお調べいただきたいと思います。
事務局長	これにて第１回懇談会を終了いたします。ありがとうございました。